



environment
くらしを守る

1 KAWARU
プロジェクト始動!

県では、森・川・海の豊かな自然環境を守り、未来へ継承するため「森川海人っプロジェクト」に取り組んでいます。県民の皆様にも、森・川・海での体験を通して佐賀の森・川・海のつながりを感じ、楽しんでいただくとともに、保全活動の輪を広げていくことを目指しています。

その一環として、「KAWARUプロジェクト」を開始し、県民の皆様が気軽に川に親しむ活動を始めるきっかけづくりを応援します。

今年度は、イベントや学習会開催等に新たにチャレンジする団体への活動支援事業（KAWARUチャレンジ事業）や、河川愛護推進団体がネットワークを広げるための交流会開催などを予定しています。こうしたイベント等に参加された方々が、楽しく学び体験しながら川を身近に感じる機会を提供していきます。



森川海人っプロジェクト
キャラクター
もりかわかいと
森川海人くん



川をもっと身近に、川が楽しくKAWARU

昨年度のチャレンジ事業実施状況



鹿島市
(鮎獲り体験)



唐津市
(河川に残る土木遺産の学習会)



伊万里市
(川床体験)



嬉野市
(救命救急講習会・河川清掃)

2 交通安全対策「やめよう！
佐賀のよからうもん運転」



「佐賀の
よからうもん運転」
やめよう！

佐賀県は、人口10万人当たりの人身交通事象発生件数が全国ワーストレベルにあります。本年は、交通死亡事故が増加しており、とりわけ、夜間に道路横断中の歩行者が犠牲になる事故が多発しています。こうした状況を改善し、交通事故を防止するためには、「横断歩道は歩行者優先」「夜間の走行は原則ハイビームの使用」という交通ルールを守るとともに、「歩行者は反射材を着用する」という心がけが大切です。

- また、佐賀県の人身交通事故の約半数は追突事故であることから、「前をよく見る」「十分な車間距離をとる」ことが事故防止の重要なポイントです。
- 車間詰めてもよからうもん
- スマホ使ってもよからうもん

- 信号守らんでもよからうもん
 - 合図出さんでもよからうもん
- こうした「佐賀のよからうもん運転」をなくし、安全で安心な佐賀県の実現につなげましょう。

3 犯罪の起きにくい
安全で安心なまちづくり

昨年の「声かけ」「つきまとい」の認知件数は、203件でした。年々増加傾向にあり、平成27(2015)年の136件と比較すると約1.5倍と、子どもや女性を取り巻く環境は非常に厳しい状況です。犯罪の起きにくい安全で安心なまちづくりは、人の目による見守り活動に加え、防犯カメラ等の機械による見守りの目を増やしていくことも重要です。

「仕事」「散歩」「花の水やり」など、普段の生活を通じて地域を見守る「ながら防犯」や通学路等の危険箇所への防犯カメラ

防犯カメラ
設置推進



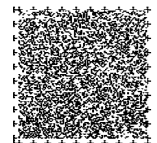
防犯に配慮したソフト面ハード面の環境整備



ラ設置など、ソフト面とハード面の環境整備を進めることにより、県民が犯罪に巻き込まれることなく、安心して暮らせる佐賀県の実現に取り組んでいきます。

お問い合わせ先

- 2【よからうもん運転】警察本部交通企画課 ☎0952-24-1111(代表)
- 3【安全安心なまちづくり】警察本部交通企画課 ☎0952-24-1111(代表) <http://www.police.pref.saga.jp>



お問い合わせ先

- 1【森川海人】河川砂防課 ☎0952-25-7540 ✉kasensabou@pref.saga.lg.jp
佐賀県HP>県土・まちづくり>河川・砂防 <https://www.pref.saga.lg.jp/list00675.html>

